

1. 自動車 2. オレンジ 3. プラチナ 4. 綿糸

1. かつてヨーロッパ諸国の植民地として支配を受けていた時期があったため	2. キリスト教を国教として普及させるために、教会の公用言語を採用したため	3. ヨーロッパ諸国との貿易の利便性を高めるために、独立後に導入したため	4. 国内の教育水準を世界標準に引き上げるため、国連の指導で公用語化したため
--------------------------------------	---------------------------------------	--------------------------------------	--

1. 原油、天然ガス、銅 2. 石炭、白金（プラチナ）、鉄鉱石 3. ボーキサイト、ニッケル、スズ 4. コルク、石、砂

1. フェアトレード 2. モノカルチャー経済 3. 加工貿易 4. 持続可能な開発

1. 南アフリカ共和国 2. エジプト 3. ナイジェリア 4. ボツワナ

1. 南アメリカ州 2. 北アメリカ州 3. オセアニア州 4. アフリカ州

1. アフリカの熱帯雨林をすべて伐採して広大な農地に変えるため、大規模な土壌機械を無償で提供する。
2. 人口増加による食料不足を補うため、日本の主要な農産物である米をすべてアフリカへ輸出する契約を結ぶ。
3. 農村部から都市部へ人口を移動させるため、都市部における工業製品の製造技術のみを重点的に指導する。
4. 農業技術者を現地へ派遣し、乾燥に強い品種の栽培方法などを指導して、現地の食料生産力を高める。

1. カカオの生産量が世界有数であり、特定の農産物の輸出に頼るモノカルチャー経済の傾向が強い。

2. 地中海に面しており、古代文明の遺跡が多く残るほか、ナイル川の治水によって農業が行われている。

3. 金や白金（プラチナ）などの鉱産資源が豊富で、アフリカの中でも工業化が著しく進んでいる。

4. 国土の中央を赤道が通過しており、広大な熱帯雨林と世界第2位の流域面積を持つ河川が流れている。

1. アフリカ州 2. 南アメリカ州 3. 北アメリカ州 4. オセアニア州

1. レアメタルの埋蔵量が豊富で、日本への輸出品としてプラチナ（白金）の割合が高い。

2. オセアニア州に位置し、日本へ石炭、鉄鉱石、天然ガスを大量に輸出している。

3. アフリカ州有数の産油国であり、輸出総額の多くを原油が占めている。

4. 酪農が盛んであり、乳製品や羊毛、肉類が主要な輸出品となっている。

1. 大陸の全域が熱帯に属しており、どの地域に移動しても密林や草原が広がる景観に変化はない。
2. 北端の温帯から始まり、サハラ砂漠の乾燥帯、赤道付近の熱帯を経て、再び乾燥帯、南端の温帯へと変化する。
3. 北端の寒帯から始まり、南下するにつれて徐々に気温が上がり続け、南端で最も気温が高い熱帯となる。
4. 北端から南端まで一貫して降水量の多い温帯が続き、大陸内部に砂漠や乾燥した地域は見られない。

1. モノカルチャー経済といい、国際価格や天候の変動によって国の収入が安定しないという課題がある。	2. モノカルチャー経済といい、原料を輸入して工業製品を輸出するため、貿易赤字になりやすいという課題がある。	3. 加工貿易といい、高度な技術が必要とされるため、労働力不足によって生産が安定しないという課題がある。	4. 自給自足的な経済といい、国内で消費する分しか生産しないため、輸出額が増えず外貨が得られないという課題がある。
---	--	--	---

1. コーヒー豆 2. カカオ 3. 天然ゴム 4. 茶

答え合わせ・解説

問1	答え 3 ブラチナ	ブラチナは、埋蔵量が少なく抽出が難しいレアメタルの一種です。特定の地域に資源が集中している「偏在性」が極めて高く、南アフリカ共和国が世界最大の産地となっています。そのため、貿易の流れを見ると、南アフリカという特定の地点から、高度な工業技術を持つ世界各地の工業地域へと、集中的に供給されるという独特の構造を持っています。
問2	答え 1 かつてヨーロッパ諸国の植民地として支配を受けていた時期があったため	アフリカ州の多くの地域は、19世紀から20世紀半ばにかけてヨーロッパ諸国によって植民地として支配されていました。その統治期間中に宗主国の言語が行政や教育の場で使われるようになり、独立後も多民族国家内での共通の通信手段や、行政手続きの継続性のために、旧宗主国の言語がそのまま公用語として維持されているという背景があります。
問3	答え 2 石炭、白金（ブラチナ）、鉄鉱石	南アフリカ共和国は世界有数の鉱物資源産出国であり、特に白金（ブラチナ）の産出量は世界トップクラスです。また、石炭や鉄鉱石も豊富に埋蔵されており、これらは同国の重要な輸出品目となっています。1980年代まではこれら鉱業が経済の軸でしたが、近年では製造業や金融業も発展しています。
問4	答え 2 モノカルチャー経済	かつての植民地支配の影響などにより、カカオ、コーヒー、銅といった特定の一次製品の生産・輸出に依存する仕組みをモノカルチャー経済と呼びます。この構造は、先進国の需要や国際相場の変動によって収入が不安定になりやすく、製造業などの第2次・第3次産業が十分に育たないため、面積の大きさに比して経済規模（GDP）が拡大しにくい背景となっています。
問5	答え 4 ボツワナ	ボツワナは南部アフリカに位置する内陸国で、輸出の約91%をダイヤモンドが占めるという極めて高い依存度を示しています。このように特定の品目の輸出に頼る経済は、国際価格の変動による影響を受けやすいという課題があります。他方、ナイジェリアは原油、南アフリカ共和国は金やブラチナなど、国によって主要な鉱産資源は異なります。
問6	答え 3 オセアニア州	世界の総人口に対して15.0%という人口を抱えながら、二酸化炭素の排出量が3.8%と比較的低い数値を示しているのは、提供された統計資料に基づくオセアニア州の特徴です。この州はオーストラリア大陸を中心とした多くの島々から成り立っており、広大な土地や海域を持ちつつも、工業化の進展度合いや人口分布のバランスによってこのような統計の特徴が現れます。
問7	答え 4 農業技術者を現地へ派遣し、乾燥に強い品種の栽培方法などを指導して、現地の食料生産力を高める。	日本の支援（ODA）の特徴は、現地のニーズに合わせた「技術協力」にあります。具体的には、農業の専門家を派遣して、アフリカの乾燥した気候でも育ちやすい品種（ネリカ米など）の栽培技術を伝えたり、効率的な水管理の方法を教えたりすることで、現地の食料自給率を向上させ、持続可能な発展を助けています。
問8	答え 3 金や白金（ブラチナ）などの鉱産資源が豊富で、アフリカの中でも工業化が著しく進んでいる。	アフリカ大陸の南端に位置する南アフリカ共和国は、金やダイヤモンド、白金、クロムといった希少な鉱産資源の産出地として有名です。これらの資源を基盤として、アフリカ諸国の中では早い段階から工業化が進みました。統計上でも、周辺国と比較して大きな人口規模と高い経済水準（国内総生産）を有していることが特徴です。
問9	答え 1 アフリカ州	サハラ砂漠をはじめとする広大な乾燥帯や熱帯雨林といった厳しい自然環境が広がっているため、農地として利用可能な耕地面積の割合が低くなっています。また、多くの国が経済発展の途上にあり、工業化が他の州に比べて進んでいないことが、二酸化炭素排出量の割合の低さに直結しています。
問10	答え 1 レアメタルの埋蔵量が豊富で、日本への輸出品としてブラチナ（白金）の割合が高い。	南アフリカ共和国は、金やダイヤモンドのほか、ブラチナ（白金）やクロムなどのレアメタルの産出・輸出が経済の柱となっている。原油が輸出の中心である記述はナイジェリア、石炭や鉄鉱石が多くオセアニア州に位置するという記述はオーストラリア、酪農製品が中心という記述はニュージーランドの説明である。各国の国内総生産や産業構造の違いを整理しておくことが重要である。
問11	答え 2 北端の温帯から始まり、サハラ砂漠の乾燥帯、赤道付近の熱帯を経て、再び乾燥帯、南端の温帯へと変化する。	アフリカ大陸は赤道を挟んで南北に広がっているため、気候帯が帯状に分布しています。地中海に面した北端や、南アフリカ共和国などの南端には比較的温暖な温帯（地中海性気候など）が見られ、その内側に乾燥帯、さらに大陸中央の赤道付近には熱帯が位置しています。このように、緯度に応じた規則的な変化が見られるのが地理的な特徴です。
問12	答え 1 モノカルチャー経済といい、国際価格や天候の変動によって国の収入が安定しないという課題がある。	特定の少数の品目に頼る経済は、コーヒー豆のように国際市場での価格変動が激しい場合、不作や価格暴落が起きた際の影響をダイレクトに受けてしまいます。その結果、国家全体の輸出額が大きく増減し、安定的な経済発展が妨げられる要因となります。原材料を輸入して製品を作る「加工貿易」とは、依存する対象や構造が異なります。
問13	答え 2 カカオ	コートジボワールとガーナは、世界有数のカカオの生産国です。これらの国々では植民地時代に宗主国によってプランテーションが作られ、現在も特定の農産物の輸出に頼るモノカルチャー経済の傾向が見られます。天然ゴムは東南アジアなどが主な産地であり、この文脈には適しません。